

分類階級

水族館の種ラベルを見ると、〇〇目〇〇科などと書いてあります。
これはいったい何を表わしているのでしょうか。

ある生物を別の生物と比べた時、同じ特徴を多く持っている場合と、同じ特徴が非常に少ない場合があります。このとき、同じ特徴をより多くもつ者同士はより近縁であると考えられます。共通の特徴を持っているのは共通の祖先に由来したと考えられるからで、したがって、共通の特徴が多いのは共通祖先から分かれてからの時間が短く両者が大きく変化するに至っていないためと考えられるからです。

共通の特徴を多く持つ、ごく近縁と考えられる種を集めてグループをつくり、さらに、それらのグループ同士で比較して近縁と考えられるグループを集めた一段上のグループを作るという、入れ子式で生物は分類されています。このとき、各グループが、どの階級のグループかを示すのに用いられるのが分類階級です。

分類階級には、^{かい・もん・こう・もく・か・}界・門・綱・目・科・^{ぞく・しゆ}属・種の7つが主に用いられ、必要に応じて追加されます。界に近づくほど上位の大きなグループとなり、種に近づくほど下位の小さなグループになります。

図に例を示してみます。マハタとクエの2種は共通な特徴が非常に多く、近縁な種と考えられ、同じマハタ属に含まれています。ユカタハタは背びれの棘条の数などに一部異なる特徴があるため別のユカタハタ属に区別されていますが、ユカタハタ属とマハタ属とは共通の特徴も多くあるため、上位のグループでは同じハタ科にまとめられます。さらに、ハタ科は、アジ科、イシダイ科などいくつかの特徴が共通することで、より上位の分類群であるスズキ目を構成します。



同様にして、近縁な目をまとめて硬骨魚綱に、さらに上位ではわれわれヒトなどと同じ脊索動物門に、そして、すべての動物が属する動物界に含まれます。

※ここに示したのは全動物のうちほんの一部だけです。

動物界

軟体動物門



ナンカイボラ

節足動物門



ベニツケガニ

棘皮動物門



ガンガゼ

紐形動物門



サナダヒモムシ

脊索動物門

ハタ科

ユカタハタ属



ユカタハタ

マハタ属



クエ



マハタ

スズキ目

アジ科



マアジ

イシダイ科



イシガキダイ

硬骨魚綱

カサゴ目



カサゴ

ウツボ目



ユリウツボ

哺乳綱



ニホンザル

鳥綱



マゼラン
ペンギン

爬虫綱



ホシガメ

両生綱



オオサンショウウオ

このため、同じ属や科には非常に近縁でよく似た特徴を多くもつ生き物が含まれ、目、綱、門と階級が上がるにつれ多様な生物が含まれることとなります。しかしながら、生物は非常に多様なため、どの程度の類似ならどの分類階級になるかということに明確な基準はなく、慣習的に決められているため、おなじグループの分類階級が研究者により異なるといったことも生じます。このため、近年では、分類階級をあえて定めない分類体系を提唱する研究者も現れています。